



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

会社名 太平化学製品株式会社

グリーンシート銘柄

コード番号 4223

URL <http://www.taihei-chemicals.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門田 豊

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 坂田 昌繁 TEL (048) 222-1122

半期報告書提出予定日 平成25年12月19日

親会社等の名称 東ソー株式会社 (コード番号 : 4042)

親会社等における当社の議決権所有比率 : 75.93%

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日 ~ 平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,431	△ 7.2	△ 127	—	△ 82	—	△ 61	—
25年3月期第2四半期	2,621	△ 19.1	△ 158	—	△ 174	—	△ 190	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △ 44百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △ 143百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△ 4 99	—
25年3月期第2四半期	△ 15 50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	8,377	2,990	35.7	243 26
25年3月期	8,663	3,065	35.4	249 41

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,990百万円 25年3月期 3,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	2 50	2 50
26年3月期	—	0 00	—	—	—
26年3月期 (予想)	—	—	—	2 50	2 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	5,500	6.7	30	—	30	—	20	—	1 63	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期第2Q	12,300,000株	25年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	26年3月期第2Q	8,342株	25年3月期	7,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期第2Q	12,292,117株	25年3月期第2Q	12,292,708株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成26年3月期第2四半期の個別業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 個別経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,426	△ 7.3	△122	—	△ 75	—	△ 57	—
25年3月期第2四半期	2,617	△ 19.1	△162	—	△176	—	△191	—

	1株当たり 四半期純利益	
	円	銭
26年3月期第2四半期	△ 4	66
25年3月期第2四半期	△15	61

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
26年3月期第2四半期	8,349		2,982		35.7		242 65	
25年3月期	8,632		3,054		35.4		248 47	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,982百万円 25年3月期 3,054百万円

2. 平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	5,490	6.7	30	—	20	—	1 63	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関連する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付書類の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

1) 当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待などにより、消費者マインドの改善や消費税引き上げ前の駆け込み需要などを背景に、景況感は改善傾向にあるものの、円安・原油高が進行し、貿易収支は赤字であり、実体経済の確実な回復には至っておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、顧客の生産拠点の海外シフト等により減少傾向にある国内需要を安定的に獲得するとともに、アジア地域を中心に積極的かつ継続的な販売活動を行ってまいりました。しかしながら、当社の主要顧客である電機・電子分野などが底打ち感はあるものの本格的な回復には至っておらず、また、新規案件の獲得が低調であったことから、売上高は、2,431百万円、対前年同期比189百万円（同7.2%）の減収となりました。

一方、利益面につきましては、売上高の減少があったものの、継続して経費削減を進め、製造原価低減にも鋭意努めてまいりました結果、営業損失は127百万円、対前年同期比31百万円の増益、同様に経常損失は82百万円、対前年同期比92百万円の増益となりました。また四半期純損失は、61百万円、対前年同期比129百万円の増益となりました。

2) 事業の種類別セグメントの状況

①合成樹脂事業

合成樹脂事業は、国内需要における拡販に加え海外新規案件が獲得できたことにより、売上高は1,460百万円、対前年同期比5百万円（同0.4%）の増収となり、この影響を受けてセグメント損失は49百万円、対前年同期比72百万円の増益となりました。

②化成品事業

化成品事業は、安価な海外品の流入の影響により需要が減少した結果、売上高は、970百万円、対前年同期比195百万円（同16.8%）の減収、また、セグメント利益は137百万円、対前年同期比46百万円（同25.3%）の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に現預金の減少、売上債権の減少等の結果、前連結会計年度末と比較して285百万円減少し、8,377百万円となりました。

負債は、主に借入金の返済実施等の結果、209百万円減少し、5,387百万円となりました。

純資産は、当四半期純損失に加え、配当金支払により、75百万円減少し2,990百万円となりました。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動の結果得られた資金が、投資活動及び財務活動に使用した資金を下回ったことにより、前連結会計年度末に比べ51百万円減少し1,230百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、223百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失が91百万円あったものの、売上債権が339百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、99百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得60百万円及び関係会社出資金の払込30百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、185百万円となりました。これは主に短期借入金の返済100百万円及び長期借入金の返済54百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国の経済情勢は雇用・所得環境の持ち直しや、消費税増税前の駆け込み需要、設備投資の回復等から緩やかな改善が期待される一方、円安に伴う物価上昇や中国を始めとする新興国市場の成長鈍化等先行き不透明感は増しております。

こうした環境下、当期における当社の業績は、一部製品の販売は増加に転じたものの、当社を取り巻く市場環境は依然として厳しい状況が続いており、海外新規獲得案件の一部に遅れが生じていることもあり、当第2四半期累計期間における業績は、売上高、営業利益及び経常利益は当初の予想を下回っております。

また、平成26年3月期の通期業績予想については、当初予想からの市場変化により、売上高は減少する予想をしており、平成25年8月1日に公表した平成26年3月期の連結業績予想を修正することといたしました。なお、製造原価のコスト改善努力等により営業利益、経常利益は当初予想から変更しておりません。

詳細につきましては、本日(平成25年11月1日)公表いたしました「業績予想の修正(連結及び個別)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,281	1,230
受取手形及び売掛金	1,877	1,538
商品及び製品	736	726
仕掛品	190	235
原材料及び貯蔵品	286	297
繰延税金資産	90	122
その他	58	56
貸倒引当金	△ 0	—
流動資産合計	4,520	4,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	298	301
機械装置及び運搬具（純額）	505	481
土地	2,759	2,759
リース資産（純額）	7	6
建設仮勘定	2	8
その他（純額）	9	8
有形固定資産合計	3,581	3,565
無形固定資産		
ソフトウェア	1	2
電話加入権	2	2
無形固定資産合計	3	4
投資その他の資産		
投資有価証券	148	173
関係会社株式	—	30
繰延税金資産	393	384
その他	15	11
投資その他の資産合計	556	600
固定資産合計	4,142	4,170
資産合計	8,663	8,377

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,009	1,019
短期借入金	3,100	3,000
1年以内返済予定の長期借入金	108	108
リース債務	2	2
未払金	139	135
未払法人税等	7	5
未払消費税等	32	2
未払費用	42	40
賞与引当金	98	88
設備関係支払手形	24	22
その他	52	6
流動負債合計	4,615	4,430
固定負債		
長期借入金	214	160
リース債務	5	4
退職給付引当金	661	697
役員退職慰労引当金	26	19
長期預り保証金	54	56
その他	19	19
固定負債合計	981	956
負債合計	5,597	5,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,222	1,222
資本剰余金	958	958
利益剰余金	927	835
自己株式	△ 0	△ 0
株主資本合計	3,107	3,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 42	△ 25
その他の包括利益累計額合計	△ 42	△ 25
少数株主持分	—	—
純資産合計	3,065	2,990
負債純資産合計	8,663	8,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,621	2,431
売上原価	2,390	2,187
売上総利益	230	244
販売費及び一般管理費	389	371
営業損失(△)	△ 158	△ 127
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	2	2
試作品売却益	10	10
スクラップ売却益	3	3
為替差益	—	11
受取補償金	—	36
その他	5	4
営業外収益合計	22	68
営業外費用		
支払利息	22	21
為替差損	10	—
減価償却費	3	—
その他	0	2
営業外費用合計	38	23
経常損失(△)	△ 174	△ 82
特別損失		
固定資産除却損	0	9
投資有価証券評価損	122	—
特別損失合計	122	9
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 296	△ 91
法人税、住民税及び事業税	△ 106	△ 30
法人税等合計	△ 106	△ 30
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△ 190	△ 61
四半期純損失(△)	△ 190	△ 61

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△ 190	△ 61
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	16
その他の包括利益合計	46	16
四半期包括利益	△ 143	△ 44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 143	△ 44
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期純損失(△)	△	296	△	91
減価償却費		87		74
退職給付引当金の増減額(△は減少)		13		35
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△	24	△	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	△	5	△	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△	0	△	0
受取利息及び受取配当金	△	2	△	2
支払利息		22		21
為替差損益(△は益)		8	△	11
有形固定資産除却損		0		9
投資有価証券評価損		122		—
売上債権の増減額(△は増加)		205		339
たな卸資産の増減額(△は増加)		255	△	45
仕入債務の増減額(△は減少)	△	187		10
未払消費税等の増減額(△は減少)		9	△	30
その他	△	15	△	42
小計		193		249
利息及び配当金の受取額		2		2
利息の支払額	△	20	△	25
法人税等の支払額	△	2	△	4
法人税等の還付額		25		0
営業活動によるキャッシュ・フロー		198		223
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△	19	△	60
有形固定資産の除却による支出		—	△	7
無形固定資産の取得による支出		—	△	1
関係会社出資金の払込による支出		—	△	30
長期前払費用の取得による支出	△	5		—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	24	△	99
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額(△は減少)		620	△	100
長期借入金の返済による支出	△	54	△	54
リース債務の返済による支出	△	1	△	1
自己株式の取得による支出		—	△	0
配当金の支払額	△	30	△	30
財務活動によるキャッシュ・フロー		534	△	185
現金及び現金同等物に係る換算差額	△	8		11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		699	△	51
現金及び現金同等物の期首残高		570		1,281
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,270		1,230

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

1) 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂事業	化成品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,454	1,166	2,621	—	2,621
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,454	1,166	2,621	—	2,621
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△ 122	183	61	△ 220	△ 158

(注) セグメント利益調整額△220百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△222百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂事業	化成品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,460	970	2,431	—	2,431
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,460	970	2,431	—	2,431
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△ 49	137	87	△ 214	△ 127

(注) セグメント利益調整額△214百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△216百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。